安城・三河安城RCガバナー公式訪問合同例会報告

開催日2023年10月29日（金）　　　　　　　　　　　　安城RC幹事　大坪久乃

10月29日（金）碧海信用金庫本店3Fに於いて、酒井法丈ガバナー、杉浦敏夫地区幹事、福田功二地区スタッフをお迎えし、安城RC、三河安城RC2クラブ合同によるガバナー公式訪問例会を開催しました。

　例会前に酒井ガバナーと2クラブの会長幹事との懇談会を杉浦地区幹事の進行にて、クラブの現状というテーマをディスカッション形式で行いました。地区補助金事業として、市政70周年70回目の安城七夕まつりに安城RCもジョイントし、子供たちに花飾りの作り方を伝承、ポリオ根絶活動をアピールすることができました。社会奉仕、RCCの少年野球や油が淵の清掃、デンパーク駅伝等、職業奉仕での職場例会や伊勢神宮公式参拝、国際奉仕ではコロナ禍で活動できなかったことなど沢山ありましたが、本年度よりコロナ前の状態に戻していきたいという思いを伝え、国際奉仕では来年2月にタイへ訪問する計画があるなど伝えました。三河安城RC報告後に酒井ガバナーより、それぞれに素晴らしい活動をされていますが、インターアクトは2クラブ合同で活動したらどうでしょうかとご意見もいただきました。

　合同例会は80名の出席者で開催されました。

例会ではRIテーマに続いて「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」地区方針についてスライドを見ながら卓話をしていただきました。

「RI会長の言葉をかみ砕き、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができる。入会候補者もロータリーに関心を持ってもらうことが大事。各会員がロータリーに自分の居場所があると思えるクラブ作りに励むこと。」

「苦難は忍耐を、忍耐は伝達を、伝達は希望を生み出す。そして希望は失望に終わることはない。人は苦労や困難に出会うと忍耐を覚える。我慢して苦労や困難に立ち向かって行くと伝達の域に達する。熟練の域に達して初めて希望が見えてくる。その希望は失望に変わることはない。『世界に希望を生み出そう』の希望は奉仕をした先に希望が見えてくる。」

「そして、ロータリーの最優先事項としてポリオ根絶あり。各クラブでポリオ根絶活動をしたら、ポータルサイトに写真を掲載し、ロータリーの友にも応募して欲しい。」

ポリオ根絶キャンペーンとして10年続けてきた地区行事は、11年目からは「ロータリー・フードフェスティバル」と名称変更し、ポリオ根絶と公共イメージ向上に努める。ロータリアンの皆様にはぜひ参加をして欲しいと、お話ししていただきました。

緊張感のある合同例会となりました。